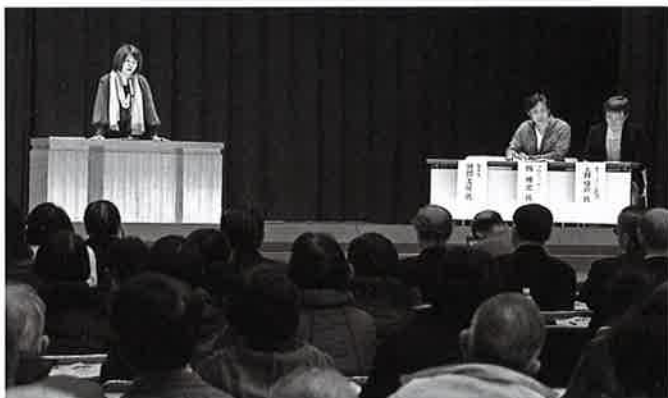


「志田周子の生涯を 銀幕に甦らせる会」が設立

「陸の孤島」と言われた昭和初期の大井沢村で、村民の生命を救い続けた女医「志田周子」の生涯を映画化し、その功績を広く知ってもらうことで地域活性化や町おこしにもつなげていこうと、2月16日、あいべ大ホールで「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」の設立総会が行われました。

総会に先立ち、経過報告やイメージソングの披露、志田周子を題材にした紙芝居・語り劇などが上演され、その後、脚本家やプロデューサー、映像制作会社による映画制作の方向性について提案等がなされました。



席上で同会長に就任した阿部幸一さん（間沢・月山朝日

観光協会会長）が、「志

田周子の生き方や偉業を現代社会に説くことはとても意義深い。皆さんの協力が必要です」とあいさつし、会の設立を宣言しました。

映画化に向けた活動母体である同会については昨年9月から会員の募集が始まり、2月15日現在で町内外から376名が加入。設立総会には約170名が出席。今春から資金集めに入り、平成26年度からの撮影を目指します。

昭和48年豪雪に並ぶ勢い!! 豪雪対策本部を設置



▲国交省が無償貸与した雪崩処理車(海味地内)

昨年12月上旬から降り続いた雪は、12月末、1月末、2月末、と各月末にかけて降る勢いを増し、2月25日現在で、地域によっては昭和48年豪雪を上回る積雪深に達しました。

町は1月17日午前9時に豪雪対策連絡本部を設置しましたが、さらに降り続いた1月下旬の積雪深や天気予報の情報を基に、雪による災害発生を未然に防ぐため、1月30日午後1時に豪雪対策本部に切り替えました。

3月中旬になり降雪期は過ぎましたが、暖かくなるにつれて場所によっては雪崩の発生率が高くなりますので、危険な箇所には近づかないよう注意が必要です。

観測地	H25.2.25 現在の積雪深	昨年 同日の積雪深	S48年度 同日の積雪深
海味	154cm	92cm	157cm
本道寺	302cm	219cm	285cm
大井沢	343cm	240cm	285cm
志津	604cm	447cm	730cm